

校長室より

令和4年7月1日(金)

「命を守る行動」



6月29日(水)に避難訓練を行いました。

今回の想定は、「授業中に震度6強の地震が発生し、給食室から出火したため全員避難を行う」というものでした。先日(6月19日)、石川県珠洲市で最大震度6弱の地震が発生したばかりということもあり、訓練では子どもたちはもちろん、教職員も終始緊張感のある行動が見られました。

実は、2年前の9月4日に坂井市に震度5弱の地震が襲いました。いまだに記憶に残っている人も多いと思います。下から突き上げる衝撃と大きな横揺れは本当に生きた心地がしませんでした。その地震は(当時、私が勤務していた丸岡中学校の)授業中に起きたのですが、生徒は自分たちの判断で、すばやく机の下に潜り、頭を保護した状態で指示をじっと待ちました。その間、先生たちは校舎内を手分けして避難経路の安全確認をし、異常がないということを確認した上で避難の必要なしと判断して授業を続けました。この地震では、決して慌てることなく、真っ先に自分の命を守る行動をとり、落ち着いて次の行動に移る。という訓練通りの行動がとれました。と同時に訓練の重要性を痛感したのを覚えています。

自治体では、地域住民が避難して一定の場所に集まる訓練だけでなく、地震発生直後の「命を守る3動作」の訓練(シェイクアウト訓練)も行われているようです。

【命を守る3動作】

- ①姿勢を低くする。
- ②頭・体を守る。
- ③揺れが収まるまでじっとしている。



(画像提供;効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)